

第14回 日本語弁論大会の開催

10月11日、第14回日本語弁論大会(アルメニア日本語教師会主催、日本大使館後援)がエレバンで開催され、青木大使が審査員長として参加しました。

大会には学生8名が出場し、さまざまなテーマでスピーチが行われました。

ロシア・アルメニア大学4年生のリリア・ホフセピャンさんは、「心の言葉」と題したスピーチで優勝し、青木大使より優勝杯が授与されました。また、エレバン国立大学2年生のシラヌシュ・ムクルチャンさんは、「笑顔の奥にある現実」というスピーチで準優勝を果たしました。ロシア・アルメニア大学2年生のスサンナ・ホフセピャンさんは、「空手から学んだ日本文化」というスピーチで第3位に入賞しました。

すべての参加者の健闘を讃えるとともに、入賞者の皆さんに心よりお祝い申し上げます。

